

# 財政局 事業計画

局長 高野 敏雄

私達つくばJCは、様々な事業を企画立案し、地域活性のために取り組んでおります。例年行なっている事業の更なる発展において、財政の健全な運用は必要不可欠であり、費用対効果、公益性の審査、会計の適正運用を含めしっかりと内容を精査することが必要であります。また未来のつくばJCを紡ぐJCメンバーにおいて「学びの機会」「成長の機会」の場としてつながる会議となるよう、適正な会議運営を行うことが求められております。

まずは継続事業だからという理由だけで予算をつけるのではなく、その取組み自体を評価、再評価し予算編成を行わなければなりません。そして、公益事業を行う団体として、従来以上の適正な予算執行が求められています。さらに、費用面、公益性の可否、適正な会計運用を含め、一つひとつの事業内容をしっかりと精査することが必要です。それには財務運営幹事会議を開催し、費用対効果の検証、公益性の検証および無駄な支出の排除を重視して管理を行うとともに、各委員会の運営幹事一人ひとりの資質向上も図ってまいります。国際貢献JCI NOTHING BUT NETSキャンペーンでは、一張でも多くの蚊帳を寄付できるよう、募金活動およびJCI仕様の自動販売機の設置を推進します。また、第65回 JCI ASPAC コタキナバル大会ジャパンナイトではブースを出展し、将来つくばの地にてJCI ASPACの誘致に向けた検証をしていきます。さらに、韓国北大田青年会議所との交流事業も開催します。未来のつくばJCを紡いでいくために、会員拡大につながるよう財政局内でも情報を共有しあい拡大に取り組めます。

財政の健全な運用を行なうことで、継続事業の更なる飛躍および発展が図れる他、新規事業の立上げも円滑に行なうことができ、メンバー一人ひとりが「ともに紡ぐ」の気概をもってJC運動に取り組んでいくことで、「美しいまちつくば」はより一層活性化します。

## 〔事業計画〕

1. 財務運営幹事会議の開催
2. 会計の適正運用管理
3. JCI NOTHING BUT NETSキャンペーンの推進
4. 第65回 JCI ASPAC コタキナバル大会ジャパンナイトでの  
ブース出展協力
5. 会員拡大